



発行日 2006年12月17日
 電話 0743-78-6491

発行者 田淵五十生
 FAX 0743-79-1420

E-Mail nakoreho@kcn.ne.jp

山下市長に施策提言書を提出

12月15日夕刻、本協会の田淵代表と李事務局長ら4名が市役所を訪問し、山下真生駒市長に**施策提言書『生駒市国際交流センター(仮称)の設置に関して』**を提出しました。

その内容は、●次年度開設を目指して『生駒国際交流センター(仮称)』設置準備を進めること。●外国人住民施策を総合的に担当する**専門部局を整備すること**。の2点です。今年も押し詰まり、10年前の「生駒市国際化基本指針」以来の『宿題』の履行を迫りましたが、未だに市として本来取り組むべき課題であるとの認識は弱いようです。これまで以上に国際化の場作りに向けた、市民の世論を市に届ける必要があります。黙っていても、何も進みません。

市長との面談後、国際化担当の企画政策課を訪ねましたが、次年度の事業に目新しいものは何もありません。このままでは、また市民の智慧と努力におんぶに抱っこ「国際化」で終わりがねません。他市の国際化担当部署の実態とあまりにもかけ離れています。自覚と研鑽と計画の具体化を求めます。

今井企画政策課長に、次回の年明け早々の会合までに、次年度の国際化担当部局としての事業計画の詳細な提示を要求しました。

最後に、市教育委員会の早川教育長を訪ね和やかに懇談しました。早川教育長は、「いこま国際交流協会の設立は、生駒市の教育現場にとってもありがたいことです。今後とも多文化共生教育の推進に協力を期待しています。」と語られました。子どもたちの教育現場から生まれ育った、いこま国際交流協会の一番の理解者は、学校現場の先生方と、教育委員会にその根っこがあることを実感した一日でした。

年の瀬各地でパーティー開催



10日、ネットワークいこま・日本語の会主催で、第3回国際交流会(クリスマスパーティー)が中央公民会で開かれ、約100名が参加し、各々が持ち寄った食べ物を交換し、楽しいひと時を楽しみました。

一方、コリアンの子どもたちは16日、韓国民団主催のオリニクリスマスパーティーに約50名が参加、ストロー飛ばしなどのオリニオリンピックゲームに汗を流しました。



サンタクロースハラボジも登場!



事務局からのお知らせ・お願い

●12月9日第1回事務局会議開催
 会計、広報、ホームページ、事業計画など各自の役割分担を確認しました。今後特にホームページ作成を急ぎます。

●今後の事業計画・企画について
 ・第2回多文化共生交流会(料理)
 2007年3月10日(土)開催予定

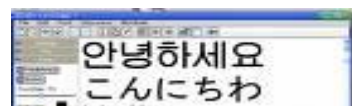
・外国人市民企画によるイベント
 各国の出し物企画を5月以降隔月に協会主催で開催。乞うご期待!
 ・国際交流、NPO研究会、つまるところ、「勉強会」も準備中です。

●12月17日現在、賛同人数は122名です。

●奈良新聞に続いて、民団新聞、NPOジャーナルなどで取材掲載中
 ●郵便口座を開設しました。

郵便口座番号 00940-0-192898いこま国際交流協会

●次回事務局会議は1月13日(土)9時から南コミセンせせらぎにて。



賛同人の永井義人さんが、初心者向けのわかりやすいハングル講習会を来年2月3日(土)1時から中央公民館で開きます。費用は無料です。筆記用具必携 問合せは電話 75-5160 永井さんまで
 (午後7時から10時)

よいお年をお迎え下さい



寄付金のお願い

現在、本会は結成直後からニュースレターの作成・発送等の広報活動、イベントへの参加等の事業を行っています。さらに今後は、ホームページの立ち上げ、交流活動、国際交流イベントなど様々な活動を企画しています。これまでの活動経費は、奈良・在日外国人保護者の有志からの寄付金で運営していますが、会員組織として「NPO法人」認証までの間は、本会の趣旨に賛同する各個人・団体からの任意の寄付金を募り活動に必要な経費に充たしたいと思っております。郵便振替の用紙を同封していますので皆様のご協力をよろしく願いいたします。